



令和3年度 多職種連携・浦添市介護支援専門員従事者研修会
 意思決定支援 ～みんなで考えよう！つながる輪～
 アンケート集計



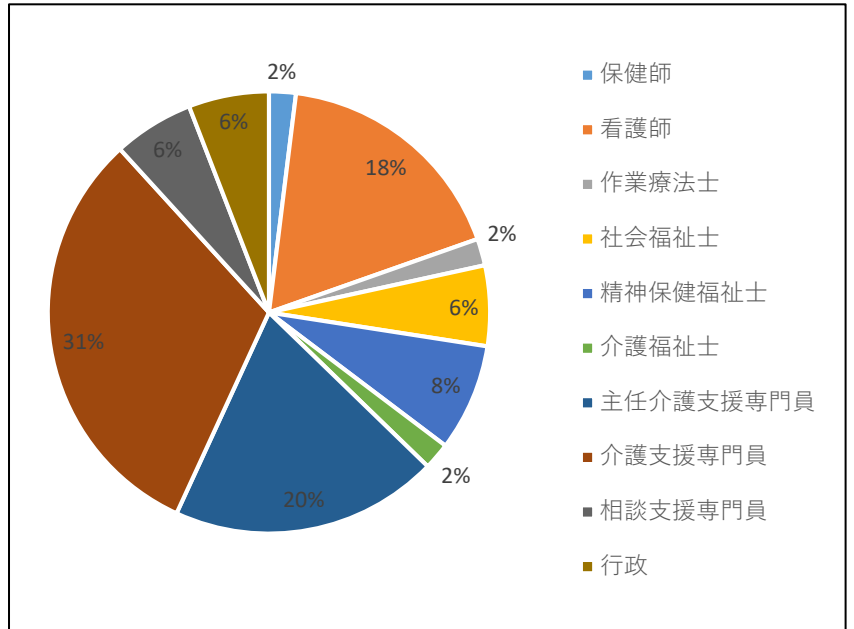
日時：令和3年12月10日（金）13：30～16：00

場所：浦添市社会福祉センター3階 大研修室

アンケート回答者：51名/64名（80%）

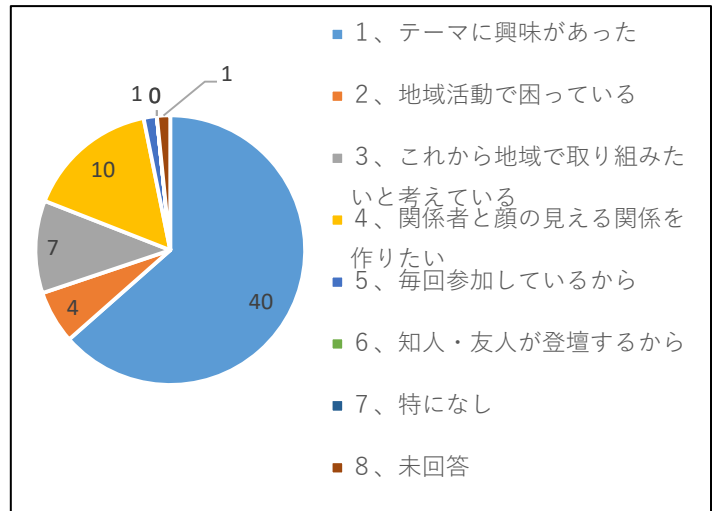
1. 職種

職種	数	割合
保健師	1	2%
看護師	9	18%
作業療法士	1	2%
社会福祉士	3	6%
精神保健福祉士	4	8%
介護福祉士	1	2%
主任介護支援専門員	10	20%
介護支援専門員	16	31%
相談支援専門員	3	6%
行政	3	6%
計	51	100%



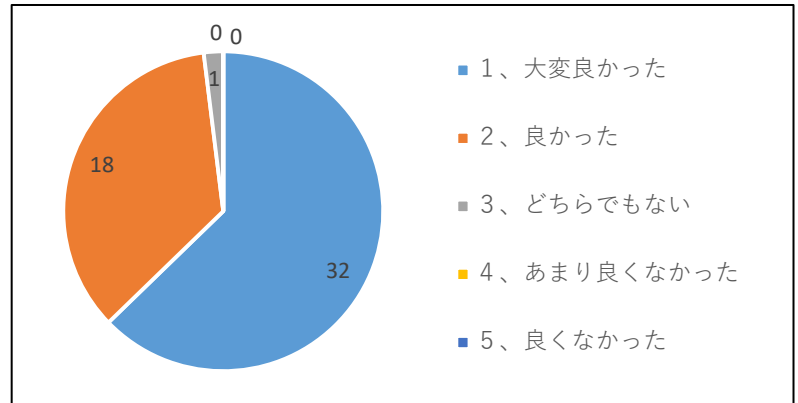
2. 当研修会に参加したきっかけを教えてください。（複数回答）

1、テーマに興味があった	40
2、地域活動で困っている	4
3、これから地域で取り組みたいと考えている	7
4、関係者と顔の見える関係を作りたい	10
5、毎回参加しているから	1
6、知人・友人が登壇するから	0
7、特になし	0
8、未回答	1



3. 本日の研修会の内容（内容、時間配分等）はどうでしたか？

1、大変良かった	32
2、良かった	18
3、どちらでもない	1
4、あまり良くなかった	0
5、良くなかった	0



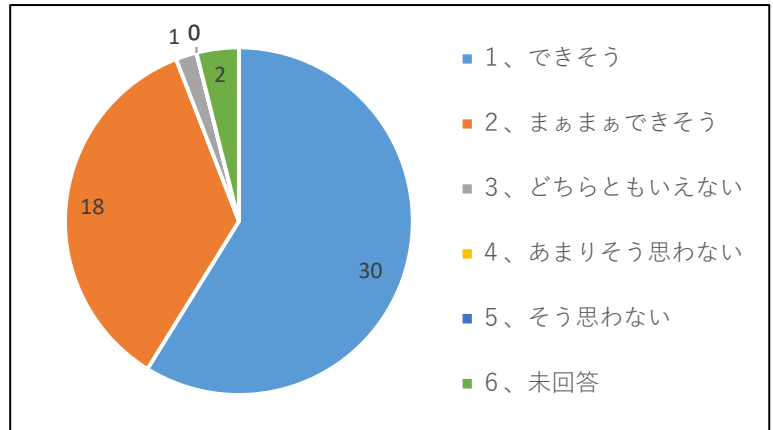
<コメント>

- ・各職種に色々なことを聞いて良かった。
- ・退院後は殆どの家庭が本人の意思を無視して施設を探してほしいと言われる。料金的な面や施設側の受け入れに困っている。
- ・色々な職種の方の取り組み、事例を聞くことができ参考になりました。
- ・グループワークの時に何について話し合えばいいのか分かりづらかった。
- ・後見人制度の申し立てを進めているところなので参考になった。後見人をチームとして支援していきたい。
- ・成年後見人や入院・退院時のことがとても勉強になりました。
- ・本人様の視点に立った考えを尊重。
- ・グループワークで様々な意見を聞いて良かった。
- ・介護支援の現場について見識が広まった。
- ・寺田先生の話も分かりやすく、勉強になりました。
- ・看護師同士だとどうしても意見や見方のかたよりがあがる為、今回のように多職種で集まってグループワークをすることで色々な角度から支援することが出来ること分かりました。また、ご本人さんが意思決定をしやすいように予めチームで会議をするという事も初めて知りました。ご本人さんを主体に支援者主体にならないようにすること。人権侵害ではないか？という事を意識する。
- ・和気あいあいとディスカッションすることが出来て良かったです。寺田弁護士のお名前はよく存じていましたが、実際にお会い出来て良かったです。名刺交換の時間があって良かったです。
- ・現場（高齢者）を知る人が法律専門家であり、現実困っている事に対する答えを得ることができた。
- ・成年後見人制度の申請について、必要としている人の打診に（拒否）苦慮しているが上手くいく方法、提案がないものか。
- ・寺田先生の経験（思い）が聞いて良かった。今日からまた頑張ります。
- ・本人の想いをまず聞いて、感じ、本人の意思を尊重しているか自問自答しました。初心に返ることができました。
- ・多職種連携とりながらのグループワークでの話し合いはベストな時間内です。
- ・一番大事な事は、本人の思いを中心にチームで関わる事が重要だと感じました。
- ・自分の支援について見直す良いキッカケになりました。

- ・本人への寄り添いの大切さを再認識しています。
- ・もう少しグループワークの時間がほしかった。事例についての内容が不足していたかもしれません。入院の原因など。
- ・本人の意思をきちんと確認していくという事を改めて認識させて頂いた。
- ・寺田弁護士のお話、大変勉強になりました。

4. 本日の研修で学んだことが、今後の実践の場面（医療と介護の連携など）で活かそうですか？

1、できそう	30
2、まあまあできそう	18
3、どちらともいえない	1
4、あまりそう思わない	0
5、そう思わない	0
6、未回答	2



<コメント>

- ・疎遠の妹のみが家族で生保の方がいます。施設を希望したり、そうじゃなかったりするため、今回の講演を活かしていきたいと思います。
- ・利用者の思いを関係者で知り理解して、チームで支援出来るよう働きかけたいと思います。
- ・本人の意思に辛抱強く確認を行う。
- ・本人の意思を尊重したい。一番本人にとって望んでいる生活を支援していきたい。
- ・今後の支援を活かしていきたいと思いました。
- ・多職種間連携の再確認。
- ・医療的視点でのみ考えていたが、多職種の意見を聞くことで、視野が広がった。支援に対しての知識を深めていかなければと今後の課題もみえた。
- ・意思決定支援でケアマネジャーに求められている事が知れた。アンケート集計が参考になった。
- ・関係機関との連携の充実。本人の思いへの傾聴。
- ・なかなか本人の意思を確認出来ない時に支援の中で決めてしまおうとしてなかなか意思がまとまらないことがあったので、本人の意思もきちんと確認できるようにしたいです。
- ・日頃から本人の意向（意思）を確認していきたい。
- ・退院支援を活かしていきたい。本人さんの判断能力が低下しているからと決めつけずに、希望を引き出す支援、尊重を出来るように取り組んでいきたいです。
- ・利用者さんの思いを聞く。引き出すようなコミュニケーション。
- ・支援者側の目線ではなく、本人の意思を確認しながら業務を行いたい。
- ・ケースとの関わり方をもっと密に行いたい。

- ・身寄りのない方の意思決定支援で判断能力が低下との関わり方、寄り添って意思を見つけていく、聴取するようアプローチの仕方、工夫をしていきたいと思います。
- ・支援シートの活用したいと思いました。
- ・身寄りのない人の支援をしていくうえで、チームアプローチがかなり必要になり、本人への生活歴を知ることが大切と分かった。
- ・本人の意思決定が第一と、捉えることを忘れずに！業務を致します。
- ・医療の現場で働いている為、介護・地域のスタッフの経験が聞けてとても良かった。今後はケアマネジャーとして、地域で働いていくので、研修会に参加していきたいです。
- ・本人の話をよく聞くこと、どんな人生を送りたいか、本人側に視点で話をしていけるか。
- ・本人の人権を意識した支援で対応する。特に身寄りのない人はチームで働く。
- ・実際の現場で活用するとなると、難しいイメージはあるが、活かしていきたい。
- ・連携の強化、個別ケースの事前指示の確認。
- ・本人の意向はもちろん大切な事ですが、多職種連携の部分を大事にし本人さんの気持ちに寄り添えるよう頑張ります。
- ・寄り添い、意思決定が出来るうちに話をたくさん聞き取りたい。
- ・あくまで利用者の意思決定を尊重する事を学んだ。
- ・面談時に意向の確認を何度も行う。身寄りのない方の支援はチーム作りを頑張る。
- ・看護師なので、医療や治療について考えてきたが、本人の意思はどうかを意識したいと思います。
- ・事前に必要に応じ話し合いの場を持つ大切。いいアイデアと感じました。
- ・本人の思い、その背景、本人がどのような生活を送ってきたのか等じっくり本人と話していくことです。
- ・地域の繋がりをもって、多職種連携していきたい。
- ・本人の意向に添った支援が出来ているのか、意思決定支援はとても難しい。
- ・地域包括支援センターの協力を得ていく。

5. 今後の研修会について、取り扱ってほしいテーマや開催日時についてご要望があればお聞かせください。

- ・今後も医療・ケアマネジャー（介護）と一緒に研修を増やしてほしい。連携の共通認識をして、顔が分かる関係になる場になる。
- ・ケアマネジャーの悩み事、ぶっちゃけ話。
- ・成年後見人について、実際、申し込みから継続までの仮想体験をしてみたいです。（本人・家族の立場で）
- ・ACPの介入方法（具体的な能力のつけ方）。